

---

# 間桐の最強の魔術師

幻龍星

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

間桐の最強の魔術師

### 【Zコード】

Z0379Z

### 【作者名】

幻龍星

### 【あらすじ】

FetazeroのLifeの物語です。これは作者の、処女作しかも駄文なので、嫌と言つ人はバックをおすすめします

## 第0話（前書き）

いとこひま、幻龍星です。作者は厨二なのでよろしくおねがしあります

「知らない天井だ」

なぜ、こんなことになつてはいるのかと一言で言えば転生しました、トランクに事故られ、変な神様がチート能力あげるから好きな世界に行つてと、言われ、赤ちゃんプレイかよーーーと思つたら死ぬ前と同じからでした

ちなみにチート能力はあとで説明するぜ

とりあえずどこだか、確認しようと移動したら。

「ようやく起きたか、氷夜いつまで寝てるつもりじゃ」

え――――まさかの臓硯なんで、まさかここ、間桐の家!!!!  
俺が甲子園の決勝でサヨナラホームランを打たれたピッチャーのような格好をしていたら。

「なにをしている氷夜、聖杯戦争のための修行の旅の支度はできているなんか、貴様は雁夜と違つて家を次ぐのじやぞ」

俺がなんで間桐の家をつがなくちゃならないんだよ、いやまたよちよつと聞いてみるか。

「なあ、臓硯おれは何者なんだ」

つと聞いてみたほかの人から見たらなにこいつ、頭がついにいかれたのかと思うがこれは大事だ。何故なら俺が誰なのかがわかるだ。

「なにを、言つてはいるのだ氷夜、貴様はわしの息子で、雁夜の弟じやぞ」

何  
い  
い

## 第0話（後書き）

臓硯の口調が分からぬ、いやまじで。次はキャラ説明です

## 主人公説明（前書き）

タイトルのとおりです。

## 主人公説明

名前 間桐 氷夜

性別 男 年齢 16

身長 180センチ

性格 結構真面目だが、きれたり、自分に何かが起きたら性格が超  
変わる

容姿 ぶっちゃけ言うとイケメン、細かく言つなら、いつか天魔の  
黒兔の紅 日向の片めがねとったバージョン。

チート能力 めだかボックスの異常、マイナスの能力 好んで使う  
のは不慮の事故エンカウンター

前世は交通事故でなくなり神様に頼んでこの世界に来た、モテモテ  
で女遊びが激しい、原作の女性キャラもほとんど、喰われている。



## 主人公説明（後書き）

自分は不定期で更新するのでよろしく。

## 第一話（前書き）

すみません、前書きだるくなつたんで次からかけるかどつか

あれから六年した、いろいろあつたりしたが結構楽しい日々だった、夜の出来事でも、旅をしている途中、衛宮の相棒、久宇舞弥に会って一緒に出かけたりしたが。

あれこの人こんなキャラだつて言うのが何回もあった、しかもなぜか惚れられてしまった、まあ俺的にはいいんだがな、しかも夜も、

「ああ／＼／＼

なんて声を出すから興奮しちまつたぜ、終わつて、別れる時も

「次会つたら、またしてくれ／＼／＼

なんて言つからせ困つたぜ、まったくモテル男は辛いぜ。

しかし今はそんなこと言つてられない、もうすぐ聖杯戦争が始まるのだから、もう令呪ある触媒手にいれた、そういうえば、この前遠坂の次女が家に来た、まあしようがないけどね、俺のことを間桐と知つてるのは、臓硯だけほかは、ただの、臓権の何かしか思つていな、桜が来るのは必然さ、兄さんも臓権に、刻印蟲をうえつけられていた、因み兄さんは修行中だ。

しかし、俺はイレギュラーな存在だが大丈夫なのか、原作の人物はしっかりとせいはいに出られるのだろうか、まあ俺の知つたことではないがな、

そうそう、俺の手に入れた聖遺物なのだがどうやら、誰の触媒なんか分からないらしい、しかしそれも、おもしろい、スリルがあつて。

まあこいつぞつて時は俺の異常で勝ち抜くか。

つこでこ、女も喰わせてもらひおひ。

「氷夜よ、そろそろ、サーバントの準備を始めるぞ」

俺が考え事をしていたら臓硯が言つてきた

「ああ」

さてと、聖遺物も置いたしそうそろ詠唱をするかね。

「閉じよ（満たせ）、閉じよ（満たせ）、閉じよ、（満たせ）閉じよ（満たせ）閉じよ（満たせ）繰り返すつどに五度、ただ、満たされる刻を破却する——」

詠唱をしている時にふと思つたもしも原作の英靈を呼んでしまつた  
らどうしよう、アルトリアをよんでもしまつたらどうしようとい

る辺に従い、この意、この理に従うならば應えよ——  
「……告げる。汝の身は我が下にて、我が命運は汝の剣にて。聖杯の寄

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0379z/>

---

間桐の最強の魔術師

2011年12月1日17時53分発行